

経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

平成 30 年 5 月 21 日 (月) 午前 10 時 04 分～午前 11 時 08 分 (9 階 908 会議室)

○出席委員(9名)

委員 長	石原洋三郎	副委員長	誉田 憲孝
委 員	佐々木 優	委 員	後藤 善次
委 員	斎藤 正臣	委 員	黒沢 仁
委 員	佐久間行夫	委 員	山岸 清
委 員	渡辺 敏彦		

○欠席委員(なし)

○市長等部局出席者(なし)

○議 題

「本市農業の 6 次産業化の推進に関する調査」

- (1) 委員長報告について
- (2) その他

午前10時04分 開 議

(石原洋三郎委員長) それでは、ただいまから経済民生常任委員会を開会いたします。

議題は、お手元に配付の印刷物のとおりです。

本市農業の 6 次産業化の推進に関する調査を議題といたします。

初めに、委員長報告についてを議題といたします。

前回、5月14日月曜日の委員会において委員長報告の骨子案をお示しさせていただき、委員の皆様よりさまざまなご意見を頂戴いたしました。

今回、それらも踏まえ修正したものと正副委員長手元で文言の削除や入れかえなど修正したのものに加え、委員長報告案という形で作成させていただきました。

お手元の委員長報告案をごらんいただければと思います。こちらは、前回からの修正がわかるように、加筆した部分を網かけで表示し、削除した部分を見え消しで表示しております。細かいところは、後ほど黙読の時間をとりたいと思いますので、そこでご確認いただくとして、主に前回の委員会で議

論のあった修正点を確認してまいりたいと思います。

まず、委員長報告案の4ページ、26行目から28行目をごらんください。前回の委員会で大学の研究フィールド見学会を実施、大学の圃場を農家、事業者合同による大学の圃場見学会を実施しという部分で表現の訂正の話がありました。ここを案のとおり、堺市では大阪府立大学農学部と連携して農家、事業者合同による大学の圃場見学会を実施し、新しい農産物の栽培提案であったりという形で修正しております。

次に、委員長報告案の9ページ28行目から10ページ1行目をごらんください。ここは、最後のまとめの部分です。前回の委員会では、感情的な表現という形でさまざまご意見をいただきました。それらのご意見を受けて、正副委員長といたしましては、農業の6次産業化推進の最大の目的は、農産物へ新たな価値を付加し、生産者の所得向上につながる好循環を生み出すことにあります。市当局におかれましては、本調査の提言を踏まえ、市内生産者の皆さんに新たな6次化商品に自発的にチャレンジしてもらうことを原点に、さまざまな関係団体と連携し、一体となって生産者に寄り添い、事業に取り組んでいただくことを期待申し上げますとシンプルに修正させていただきました。

さらに、まとめの修正を受けて、委員長報告案の8ページの19行目から24行目をごらんください。まとめで削除した部分を一部ここに付け加え、表現を生かしたところです。具体的には網かけ部分を追記しており、また横田参考人からは、6次産業化の一番の売りは生産者に小さな幸せを感じてもらい、自信をつけてもらうこと。そして、6次化商品を製品化していくにあたっては、その原材料やレシピ、販売方法、ターゲットなど27項目にも及ぶ工程を経て商品となること。さらに、生産者が6次化商品を扱う際には、その商品に応じてさまざまな製造免許や営業許可などの資格が必要になるとの意見が出され、6次産業に取り組むにあたっては、生産者が充実感や満足感をいかに得ていくかが重要であること。相当な事前の準備が必要になることが示されましたと修正しております。

そして最後に、委員長報告案の10ページ、5行目から6行目をごらんください。前回の委員会でオール福島という表現についてご意見をいただいております。このことから、案のとおりオール福島の一員としてを削除し、全力でという表現を追記しております。

前回の委員会での議論をもとにした修正は以上のとおりであります。そのほか正副委員長手元で文字の入れかえや削除を行った箇所が何カ所かございます。それらの修正点と全体的な内容を再度ご確認いただくため、これから10分ほど黙読の時間をおとりしたいと思いますので、各自ご確認をお願いしたいと思います。

そして、黙読の最中にも修正がある場合には、修正したほうが良いと思うような場所がございましたら、それにかわる文案も考えていただきながら、どういうふうに文言を修正したほうがよいのかということも考えていただきながら黙読をしていただければと思います。

それでは、以上今から約10分ほどおとりしたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

【資料黙読】

(石原洋三郎委員長) 大体10分ぐらいたちましたので、それではここで改めて皆様より委員長報告案について修正点などあればご発言願いたいと思います。

なお、修正がある場合はそれにかわる文案を出していただいた上で協議したいと思いますので、修正案も含めてよろしくお願ひしたいと思います。

(斎藤正臣委員) 文言なのですけれども、施設名って統一するのですよね。例えば四季の里農産加工館産品開発室というのは、3ページの15行目が多分開発室が抜けている。

(石原洋三郎委員長) 3ページ目の四季の里農産加工館の利用者ニーズのところに。

(斎藤正臣委員) そういう細かいところなのですけれども。

(石原洋三郎委員長) 産品開発室を入れると。

(斎藤正臣委員) はい。8ページの13行目が四季の里農産加工館というのが四季の里が抜けている。

(石原洋三郎委員長) 13行目、四季の里というのを上に入れるという。

(斎藤正臣委員) そう。同じページの8行目、農産加工館開発室と。

(石原洋三郎委員長) 産品開発室ですね。文言としては、四季の里農産加工館産品開発室ということで統一するというところでよろしいでしょうか。

(山岸 清委員) あるいは、最初に農産品開発室、以下四季の里というなんて書いてあればいいのだけれども。農産品加工室だろうな。全部文言整理してくれるのはいいのではないですか。

(石原洋三郎委員長) 基本的には四季の里農産加工館産品開発室ということで統一するというで。

(佐久間行夫委員) 長ければ産品開発室は要らないのではないの、加工館で統一するならば。もともととはあれは四季の里農産加工館でとめて、あと中が産品加工室と事務所。

(山岸 清委員) 加工館でもわかるでしょう。

(佐久間行夫委員) 開発室と事務所と分かれているのだから。加工館でもいいよ。そこでとめても、下とっても。意味は通じる。

(山岸 清委員) 加工館でとめておいても産品開発室は入っているからね。そうでないと事務室も入れてくれなんて言われてしまう。事務室だってやっているのだ。

(黒沢 仁委員) 開発室あって、何で事務室つukらないのだとなるから。

(山岸 清委員) 事務室だって働いているのだから。

(石原洋三郎委員長) 例えば加工館としたときに、加工品の試作、開発を気軽に行える場とか、施設の手狭さとか老朽化というのは、加工館全体のような……。

(後藤善次委員) 3ページの加工設備は加工設備でいいのだよね。加工館の加工設備ということで、15行目は。

(黒沢 仁委員) これはいいよね。

(後藤善次委員) これは施設のことではなくて設備のことを言っているわけでしょう、15行目の後半は。

(石原洋三郎委員長) ええ。

(佐久間行夫委員) 14、15行でいくと四季の里の農産加工館の利用ニーズで。

(後藤善次委員) これで統一すればいいですよ。

(佐久間行夫委員) そこまでにして、中身は加工設備の老朽化、これはこれでいいですよ。

(黒沢 仁委員) 四季の里農産加工館。

(佐久間行夫委員) 長くなくてもいいのではないの。読むの大変。

(石原洋三郎委員長) 四季の里農産加工館で統一をさせていただきます。

(佐久間行夫委員) 2ページの、全部読んでいないけれども、23行から24行で観光果樹産業というの、ああいうの。普通に観光果樹園でだめなの。

(後藤善次委員) 果樹園でいいよ。その横に観光果樹園と書いてあるのだから。

(佐久間行夫委員) 観光果樹園でいいのではないの。

(石原洋三郎委員長) それでは、生産者による直売活動や観光果樹園が大変盛んであることということで統一をさせていただきたいと思います。

(佐々木優委員) 5ページの28行のところなのですけれども、後半のこのことから農政部におかれましては、今回云々かんぬんで、強い気持ちでと、ちょっとこの感情的な表現、私はすごく反応してしまうのですけれども、ここを強い気持ちではなくて、例えば今回建設予定の道の駅を本市の6次産業化推進の拠点とするためにも農産加工室の設置やとかって、ためにもにかえたらどうかなと思うのですけれども、どうですか。

(黒沢 仁委員) そうだね。

(石原洋三郎委員長) このことから農政部におかれましては、今回建設予定の道の駅を本市の6次産業化推進の拠点とするためにも。

(佐々木優委員) ためにもいろいろやってねということだと思うのですけれども。

(石原洋三郎委員長) それでよろしいでしょうか。強い気持ちでというところを6次産業化推進の拠点とするためにも。

(黒沢 仁委員) いいね。

(石原洋三郎委員長) ためにもではなくて、ためにはで。

(佐々木優委員) そうですね。どちらでも大丈夫かなと思います。

(石原洋三郎委員長) ためにはで。拠点とするためにはということさせていただきます。

(斎藤正臣委員) 7ページの30行目、食農学類、仮称ですね。

(佐久間行夫委員) 統一だね。

(石原洋三郎委員長) 7ページ目の何行目。

(斎藤正臣委員) 30行目。

(石原洋三郎委員長) 仮称ですね。

(斎藤正臣委員) 仮称。

(佐久間行夫委員) 大笹生道の駅というのは正しい名前なの。大笹生道の駅と出ていたでしょう、文章の中に。例えば5ページの10行目に平成32年度オープン予定の大笹生道の駅というの。何だか建設で説明するときは違う話みたいだけれども、違うの。これでいい。

(山岸 清委員) では、これは確認してもらって。

(佐久間行夫委員) 大笹生周辺設置のとかって、何かそんなのでないの。これまだネーミングも決まっていないのだよね、大笹生の。そういう意味でのそれでいいのかいというので、何かいつも議会答弁では違うこと言っている気がするのだけれども。

(山岸 清委員) だから、もしあれのときは仮称でも後ろにつけてもらえば。

(佐久間行夫委員) 仮称でもないのだ、まだ。

(石原洋三郎委員長) 大笹生周辺設置予定の道の駅ですか。

(佐久間行夫委員) なんかいふうなものが議会では、本会議のやりとりはそうだね。まだ決まっていないから。そこだけ建設部と調整して。

(後藤善次委員) 係ありましたよね。係の名称がありますものね。

(佐久間行夫委員) うん、その辺は統一したほうがいいかなと思った。

(石原洋三郎委員長) 大笹生道の駅に関しても名称を統一して、仮称にもなっていないかもしれないので、おっしゃるとおり。

(佐久間行夫委員) まだ大笹生道の駅という名前でもないし、そこだけ正式ではないと思うので。

(石原洋三郎委員長) そこを確認して、全て統一する形で修正したいと思います。

ほかございますでしょうか。

(山岸 清委員) ありませんが、これを会派持ち帰りのとき直した経過とかが無い、すっきりしたやつ持っていくのでしょうか。

(石原洋三郎委員長) そうです。

(山岸 清委員) その辺確認だけ。

(石原洋三郎委員長) できればきょういただいたものをすぐ修正して、暫時休憩なりして直してお配りしたいと考えております。

ほかございますでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(石原洋三郎委員長) それでは、以上4点出たかと思うのですけれども、四季の里農産加工館産品開発室については、四季の里農産加工館でとめて表現を統一することと、あと福島大学食農学類(仮称)というふうにもするということとあります。あと、2ページ目の観光果樹産業のところを観光果樹園と直すということとあります。あと、大笹生道の駅に関しましては、調査した上で表現を統一していきたいと思えます。

済みません。もう一点ありました。5 ページ目の28行目、29行目なのですが、このことから農政部におかれましては、今回建設予定の道の駅を本市の6次産業化の拠点とするためにはということなので、はとはが続くところもあるので、拠点とするためにできるか、ためにものほうが、農政部におかれましてはという導入が来るので。

(山岸 清委員) もでもいい。

(石原洋三郎委員長) もか、ためにで切らせていただいて修正したいと思います。

(石原洋三郎委員長) ためにで切らせていただきます。

(黒沢 仁委員) 1字短くなったよ。

(石原洋三郎委員長) それでは委員長報告の修正のため、ここで暫時休憩いたします。

午前10時34分 休 憩

午前11時01分 再 開

(石原洋三郎委員長) それでは、委員会を再開いたします。

それでは、書記のほうで修正してまいりましたので、修正案を再度配付させていただきます。

【資料配付】

(石原洋三郎委員長) それでは、修正した箇所を書記のほうから読み上げさせていただきます。

(書記) まず、1 ページ目ごらんください。1 ページ目の15行目ですが、先ほどお話のありました四季の里の農産加工館ということで、こちら表現を統一させていただいております。

続きまして、2 ページ目をごらんいただきまして、23行目から24行目にかけて観光果樹産業と書いてあった部分を観光果樹園ということで直させていただいております。

続きまして、3 ページ目をごらんいただきまして、まず1行目、あと12、13行目、こちら四季の里の農産加工館ということで統一させていただいております。

22行目、こちら道の駅のほうの表記が出てくるくんだりなのですが、当局に確認しましたら、基本計画の中では(仮称)道の駅ふくしまということで呼んでいるということでしたので、こちらの表現に統一をさせていただいております。

5 ページ目に行っていただきまして、その道の駅の表記の部分で4行目、5行目、あとは23行目を直しております。23行目から24行目にかけて、拠点とするためということで、こちら直させていただいております。27行目につきましては、農産加工館の表現ということと、あと29行目も道の駅の表現ということで統一しております。

続きまして、7 ページ目をごらんいただきまして、こちらの11行目に道の駅の表現が出てきておりましたので、こちら文言の統一と、あと20行目、ご指摘のありました福大の(仮称)がちょっと抜けている部分がございますので、こちら修正しております。あと、28、29行目、30行目にかけても四季の里農産加工館の表記が出てきておりますので、こちらも文言の統一をしております。

続きまして、8ページ目に移っていただきまして、2行目でございますが、こちらも四季の里の農産加工館の部分が出てきておりますので、こちらも表現を統一しております。

修正点につきましては以上でございます。

(石原洋三郎委員長) 以上、何かございますでしょうか。

(山岸 清委員) ありません。随分縮まったような感じですね。10ページまで行かないから。

(石原洋三郎委員長) それでは、この委員長報告案でよろしければ、各自会派にお持ち帰りいただき、6月1日の定例会議初日、本会議散会後に委員会を開催し、各会派の結果を確認したいと思います。

なお、6月1日は散会后、代表者会などもあるようですので、それらが終了してからの開催となります。少しお待ちいただくようになるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

なお、委員長報告案各会派分に関しましては、後ほどレターボックスに入れておきたいと思いますが、今お配りしたこの案をコピーしていただいて、各会派の各委員にお渡ししていただくなどして、6月1日までに各会派の意向を確認していただければと思います。

(後藤善次委員) どっち。レターボックス。

(石原洋三郎委員長) には入れますので。

(後藤善次委員) 1日に持ち寄ったのでは遅いですね。

(石原洋三郎委員長) 1部ずつレターボックスに入れますので、入れた1部をコピーしていただいて、各会派内で確認していただければと思います。

(黒沢 仁委員) 1部しか入れない。

(石原洋三郎委員長) そうそう、1部しか入れないので。

(山岸 清委員) 会派分ということで1部ずつ入れるの。

(石原洋三郎委員長) そうです。

(山岸 清委員) 3人いる人はどうするの。俺のほうは委員長に任せるから。

(黒沢 仁委員) 会派でやれということなのでしょう、結局は。

(石原洋三郎委員長) そうです。会派で……。

(黒沢 仁委員) だから、これをもって修正したのあるのだから、会派でやればいいのでしょうか。

(石原洋三郎委員長) 今書いたりもしたでしょうから。

(山岸 清委員) 入れなくて、きょうこれでもう配ったということでもいいのだよ。

(石原洋三郎委員長) これを配っていただいてもいいです。

(山岸 清委員) だから、会派に配ったということで、あとこれをコピーしてやればいいのだ。

(黒沢 仁委員) そして、あと報告のときはこの案がなくなるわけだね、了解していただければ。

(石原洋三郎委員長) そうです。

(黒沢 仁委員) 会派でやるときは、あくまでもこの(案)で確認すれば大丈夫でしょう。

(石原洋三郎委員長) (案)で。

(黒沢 仁委員) わかりました。

(石原洋三郎委員長) よろしくお願ひしたいと思ひます。

最後に、所管事務調査の新しいテーマについてであります。

前回の委員会でテーマ集約表をお渡ししてありまして、本日そちらを回収させていただければと思ひます。

本日いただいたシートをもとに、次回以降テーマについて協議していきたくと思ひます。

そのほか委員の皆様から何かございますでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(石原洋三郎委員長) なければ、以上で経済民生常任委員会を終了いたします。

午前11時08分 散 会

経済民生常任委員長 石原 洋三郎